

令和6年度 第6回下呂市教育委員会会議録

1. 招 集 日 令和6年9月27日(金)
2. 会 場 星雲会館 西風の間
3. 開会・閉会 午後2時30分 ～ 午後3時45分
4. 出 席 者 教 育 長 中 村 好 一
委 員 河 尻 明 子
委 員 小 口 晃 生
委 員 細 江 洋一郎
委 員 三 木 朋 哉
5. 欠 席 者 委 員 竹 田 小 織
6. 委員の他出席者 教育委員会事務局長 山 中 明 美
教育総務課長 細 江 実
学校教育課長 黒 木 和 実
文化財課長 松 井 智 之
地域振興課長 渡 邊 展

7. 付議案件

- 日程第1 会議録署名者の指名
日程第2 会期について
日程第3 前回会議録の承認について
日程第4 教育長報告及び事務局報告について
日程第5 議第16号 下呂市地域クラブ指導員の委嘱について
日程第6 協議、報告事項
- ・議会の議決を経ずに行った教師用指導書の購入について
 - ・ランドセルの無償配布について
 - ・下呂市育英資金の改正について
 - ・各課業務報告
 - ・その他

(開会に先立ち市民憲章の唱和)

教育長 これより、令和6年度第6回下呂市教育委員会を開会します。初めに日程第1、会議録署名者を指名します。本日、細江洋一郎委員にお願いします。

教育長 日程2、会期について。会期は本日1日としてよろしいでしょうか。

(委員全員 異議なし)

それでは会期は本日1日といたします。

教育長 日程第3、前回会議の承認について、事務局より説明をお願いします。

(事務局長 会議録要旨を朗読)

教育長 ただ今の会議録にご異議がある方ありませんか。前回の会議について承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 それでは前回会議録について承認といたします。

教育長 日程第4、教育長報告及び事務局報告をいたします。

1. 9月定例議会の報告

9月2日より30日までの会期で9月定例議会が行われました。2名の議員さんから一般質問があり、私と事務局長で答弁をしました。

田中議員からは、少子化対策について、ランドセルの無償配布や教材費への支援の進捗状況について、新しい奨学金制度の計画の進捗状況について質問がありました。

少子化対策は、手厚い人の配置を行っているとし、23人の学業支援員やスクールサポートスタッフ、11人の不登校対策等指導員、5人の教科や特別支援教育やICT指導員、5人のALT外国語指導助手や国際交流員、4人の図書整理員、84人の部活動指導員を配置していること。また、教員のサポート体制を充実させる教材費等の公会計化について答弁しました。

保護者への支援として、社会科見学などの際のバス借上料、芸術鑑賞会の費用、特別支援学級校外活動費、不登校対策児童生徒活動費などの支援、部活動への支援として部活動育成補助金及び遠征の際の交通費補助、土日の合同部活で拠点校へのスクールバス移動や公共交通費の補助、社会人コーチへの謝礼などがあり、更に給食費についても、物価高騰分の公費負担、中学生の半額免除、地元食材を使用して毎月「ふるさと給食」を実施し、食材の差額分を公費でまかなっていると答弁しました。今後、これらのことを積極的に周知していくことをお約束しました。

ランドセルの提供については、アンケート調査結果を報告しました。制度について、賛成が全体の65%、反対が7%、どちらとも言えないが28%。ランドセルを希望するかについては、希望するが69%、希望しない方が29%、未回答が2%。年長児については、64%が希望、既に購入済みの方は40件ありました。より良い支援となるよう検討すると答弁しました。その後、市長さんからランドセルの提供を行うとの答弁がありました。

下呂市育英資金は、大学等高等教育への進学を希望する学生を経済的に支援するための奨学資金制度ですが、貸与を受ける学生の利用状況は年々減少し、令和6年度は10人になっています。利用者が少なくなった要因の一つとしては、日本学生支援機構の奨学金制度の拡充が考えられます。下呂市育英資金のメリットは無利子であることと返済時の減免規定があることですが、令和5年度に利用者を対象に実施したアンケート結果から、貸与金額が月額2万円または3万円と少ないことから、利用者の約8割が他の奨学金を併用していることがわかり、金額の増額と返済期間の延長を望む声が多くありました。そこで、下呂市育英資金のメリットを生かしつつ、高等教育を望む学生が利用しやすい制度となるように検討を進めていくと答弁しました。

今井政良議員からは、酷暑による熱中症とスポーツ練習、大会の見直しについてと子育て支援において教育面での新たな支援策について質問がありました。

酷暑期間中に行われる大会は、中学校体育連盟主催の大会で、全国大会までつながっており、授業に支障をきたさない夏休み期間中に行われること。その予選会である東海や県、地区、市大会が設定されており、現状、開催変更は難しいと答弁しました。しかし、下呂市大会においては、統一日での開催をしておらず、市中体連理事会の中で毎年、検討していると付け加えました。

部活動の練習や大会開催に伴う対応は、岐阜県教育委員会で示している熱中症対策ガイドラインに従って活動と運営を行っていること。具体的な熱中症計で示す暑さ指数WBGT、33以上となった時には、教育活動中止。31～33になった時

は原則中止ですが、時間をずらしたり内容の変更等を行ったりして行うことはできとなっていること。28～31 の場合は、10 分～20 分おきに休息をとり水分・塩分の補給を行ったり、散水をしたりして環境を整え活動を行うとなっていると答弁しました。

そのほかに熱中症対策として、WBGTを図る熱中症計で、活動前と活動中など2回以上は定期的に測定を行っていること。大会運営においては、試合の日程を早くしたり、余裕をもたせたりして休養と水分補給が確実に行えるようにしていること。養護教諭の配置や氷や経口補水液の常備、テントや休憩室を設けるなどの対応も行っており、今年度、下呂市の生徒からは、熱中症での体調不良者はでていなかったと答弁しました。

子育て支援については、田中議員と同じ答弁をしました。

2. 様々な学校行事と視察

9月も様々な学校の行事が展開されました。4日には下呂小学校で行われた「組曲 下呂石物語」の授業、6日には国民文化祭で紹介される下呂っ子フォークダンスが下呂小で行われ視察しました。地域を巻き込んだ教育活動の展開は、こどもたちに新たな力を培っていると感じました。

また、秋の運動会が始まりました。23日は萩原小。25日は小坂中と下呂中でした。子どもたちを前面に出した取り組みは、昨年より拍車がかかっていると感じました。

そんな下呂市の教育について、8月19日には長野県小諸市議会、9月6日は群馬県中安市教育関係者の方が来庁され、部活動の地域移行について話を聞きにみえました。子どもや先生たちが作り上げている下呂市の教育を更に広めていきたいと考えています。

教育長 教育長報告について、ご質問、ご意見はありませんか。
(質疑等なし)

教育長 続きまして、事務局報告をお願いします。

事務局長 事務局からは、人事異動についてご報告いたします。

9月1日付で人事異動があり、教育総務課の庄田剛課長補佐がまちづくり推進課に異動となりました。大変お世話になり、ありがとうございました。

代わりにまちづくり推進課から大前欣士主任主査が、教育総務課に配属されました。主に施設維持管理にかかる契約等を担当します。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

教育長 事務局報告について、ご質問、ご意見はありませんか。
(質疑等なし)

教育長 教育長報告及び事務局報告は、以上で終わらせていただきます。

教育長 続きまして日程第5、議第16号 下呂市地域クラブ指導員の委嘱について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長 説明)

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。
(質疑等なし)

教育長 日程第5、議第16号について、承認される方は挙手願います。
(全員挙手)

教育長 全員挙手、承認といたします。

教育長 日程第6、協議、報告事項になります。議会の議決を経ずに行った教師用指導

書の購入について、事務局の説明を求めます。

（教育総務課長 説明）

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか

三木委員 発覚の経緯について、「本事案が初めて2,000万円を超えることとなった要因は、教科書及び指導書のデジタル化により、購入価格が上昇したことによる」とありますが、この内容について、もう少し詳しく説明してください。

教育総務課長 今回購入したデジタル教材につきましては、単価が8,000円から81,000円、4年前の令和2年度は17,000円から68,000円で価格が設定されていました。大きく価格が上がったというところと、令和2年の時にはデジタルがそれほど普及していなかったため、デジタル分は34冊149万円ほどでしたが、今回は430冊2,160万円ほどとなり、初めて2,000万円を超えることとなりました。

三木委員 デジタル化の内容は、こういったところでしょうか。

学校教育課長 子どもの教科書とともに、教師は指導書を使います。教科書に赤線とか注釈、これをどう教えるのかという単元指導計画が入ったものの2冊を持っています。以前もデジタルはあるにはあったのですが、GIGAスクールによって非常に中身が充実してきました。例えば、パソコンやタブレットで映し出しますと、色々クリックするところがあって、動画が出て来ます。そのように指導する際の資料がいっぱい添付されるようになってきました。こういったところが、デジタル化によって価格が上がったということになると思います。

三木委員 今後ますます、価格が上昇する可能性があるということでしょうか。

教育総務課長 今後も先生方の使用されるデジタル指導書が増えていくと考えられるため、2,000万円を超える事案があると思います。

河尻委員 品名のところで「金山地域を除く」の意味を教えてください。

教育総務課長 教科書の安定供給の観点から、文部科学省が教科書供給業者を指定しています。金山地域は川辺町にある佐藤商店さんから購入しています。金山地域を除く地域については喜久屋商店さんからの購入となり、二つに分かれております。

河尻委員 金山地域については、今回の議会の議決を得るべき2,000万円を超える動産に含まないということですか。

教育総務課長 金額的には260万円ほどでしたので、議会の議決を得る必要はありませんでした。ただし、金額は少ないですが、「動産」の取り扱いについては、間違えないように取り扱っていきます。

教育長 ちなみに、教科書販売会社は決まっていて、全国で2,600数軒しか指定されていません。

教育長 次にランドセルの無償提供について、事務局の説明を求めます。

（教育総務課長 説明）

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか

河尻委員 軽量ということでしたが、普通のランドセルはどうでしょうか。

教育総務課長 インターネットからの情報で恐縮ですが、普通のランドセルは1.1～1.3kgと言われております。市が提供しようとするランドセルは、サイズにより930gと1,025gです。竹原地域で使用されているランドセルは約900gです。ネットで検索する平均よりは軽量であることから、こちらをと考えております。

細江委員 値段はいくらですか。

教育総務課長 資料にある「わんパック15」は15,950円です。普通のランドセルは、インターネットで検索すると、令和6年度では59,000～80,000円くらいが平均と

なっております。

細江委員 過去にはリュックサックもあったかと思うが、ほとんどランドセル一色になっているような気がします。将来、市から支給されるランドセルが主流となるようにすすめていくならよいことだと思いますが、購入されたランドセルと支給されたランドセルが中途半端な状況だと違和感があるというか、差別感が発生するといった心配があるように思います。

教育長 校長会でもこの話をしました。今の時点でランドセルばかりではなく、背負って来るものは自由です。ナップザックで通っている子もいるという状況です。校長会からは、各家庭の希望もあるため統一しないことをお願いしたいとのことでした。これは支援策の一つであって、学校としては選択の中の一つという捉え方でやらせていただければということです。ただ、各学校からの動きがあれば、PTAなどで話し合いをしながら、学校の中で統一することがあっても問題ありませんと回答させていただきました。

下呂市では前から、全て統一して決めるのではなく自分で選択する、差別をしない思いやりの心を養う、そういう教育がされています。下呂市の教育の中で差別的なものがあれば、そういうことをする世界ではないということを学校全体でやっていこうと捉えています。心配はもちろんあると思いますが、学校の先生方はそのような方向で動こうとしておられます。

三木委員 ランドセルの軽量化という目的ですが、使わない教科書は学校に置いてくることがある程度すすんでいるかと思います。学校によっても違うでしょうが、教科書の持ち帰りはどのような状況になっているか教えてください。

学校教育課長 基本的には学校に置いて行ってよいということになっています。家で学習する場合は、その教科書を持ち帰り、勉強して持ってくるというところが多いという状況です。

三木委員 まだ、タブレットに全て入っているという状況ではないですね。出来ればランドセルが要らなくなるくらいになればよいという感想を持ちました。

教育長 可能性として、デジタル教科書になっていくことは間違いないと思います。全てではありませんが、段々とタブレットだけという方向にはなり、持っていくものは減っていく可能性があると考えております。

小口委員 今年度は来年4月に入学する子で希望されない方への支援策がありますが、来年度は希望されない方への支援が何もないということですね。

事務局長 市長としては、選択は自由であるということがありますので、希望される方に対しては市の支給するランドセルを使っていただきたいけれども、自由であることと購入される方については経済的な余裕もおありでしょうから、強制はしませんというお考えを述べておられます。

小口委員 強制ではないという考えはわかるが、希望者だけへの支援では平等ではないという印象があるのが心配です。

教育長 これは、子育て支援の一つであるため、負担が大きい人への援助として行って行けばいいと考えています。今後そのような話がどんどん出たら、色々な自治体でやっているような入学お祝い金という方向も、必要ならば考えていきます。

小口委員 不平等感を持たないようにやっていただければいいかと思います。

教育長 次に下呂市育英資金の改正について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長 説明)

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか

教育長 日本学生支援機構と比べると、変更後の貸与額は同等、入学一時金は下呂市だけ。海外派遣貸与についても下呂市だけです。

教育総務課長 海外派遣事業については、他の市町と比較しても下呂市だけです。

教育長 日程第6、協議、報告事項になります。各課の業務報告をお願いします

(教育総務課長 説明)

(学校教育課長 説明)

(文化財課長 説明)

(地域振興課長 説明)

教育長 各課業務報告につきまして、ご質問等はありませんか。

河尻委員 地域振興課の報告で9月26日のこども計画検討会議というのは、どのような会議か簡単に教えてください。

地域振興課長 こども家庭課が中心となり、下呂市こども計画の策定を進めております。地域振興課の青少年、家庭教育など、関係する部署の担当が集まって検討をしているところです。

河尻委員 今の段階では、集まった課の中で何について検討しているのでしょうか。

地域振興課長 市としての総合的な計画になるのですが、子どもをどう支援していくかの計画です。

学校教育課長 国のこども計画があつて、それを受けて岐阜県の方でも策定をし、下呂市の方でも策定をしていくということです。今はワーキンググループができて、中身を検討しています。現在、子どもに関するどういった支援をしているのかを持ち寄りまして、その中でどういったことを盛り込んでいくか、集約しているような段階です。

河尻委員 今すでに生まれている子どもについてのことなのか、子どもを増やそうという計画なのか。こども計画が漠然としたものなので、質問させていただきました。

教育長 今いる子どもに対して、親や地域がどう関わって子どもを育てていくかということ。子どもの意見も聞く。学校とかではなく、全てでということです。

教育長 その他、報告事項はありませんか。

(教育総務課長 岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会について説明)

(学校教育課長 学校訪問及び中学校音楽会について説明)

(地域振興課長 国民文化祭下呂市の事業及び南飛騨アートディスカバリーについて説明)

教育長 19日に希望する校長先生と一緒に、南飛騨アートディスカバリーの会場を見してきました。作品ができたものと、今作っているものがあります。全部見ようと思えば3時間程かかるくらい広いところでやっている。ビックリするような大きさとか細かい美術作品とか色々あつて、ぜひ見た方がいいなと思います。1回行くと半日かかるということで、宮田小と尾崎小は近いので行きます。小坂は行く方向で検討中、下呂中の美術部がボランティア活動でかかわることになっています。あとは、土日たくさん行くように仕向ける方向で動いている状況です。もしかしたら、今回これを見ることで20年後に美術家が生まれる可能性があるかなということもあります。

ぜひ見に行っていただければと思います。

教育長 その他よろしいでしょうか。

(質問等なし)

教育長 次回の教育委員会を10月25日に開催することとし、これをもちまして第6回

下呂市教育委員会を閉会いたします。